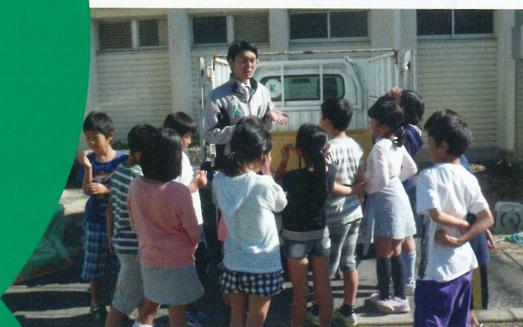


2016

人と地球にいいコミュニケーションパートナー

CSR 報告書 2016



E-Communication partner

KINKAN GROUP

KINKAN GROUP

KINKAN グループは環境サービス全般を通して、 循環型社会の構築のため日々活動しています。

【目次】

01. トップメッセージ

02. グループ概要

基本理念

環境経営へのベースライン

03. 環境マネジメントシステム(EMS)

05. ISO14001 目的目標

環境・社会活動の推進

07. 自然環境

10. 地域社会

13. 教育

15. 福祉

16. 労働環境

コンプライアンスへの取り組み

19. コンプライアンスへの取り組み

事業内容の強化

22. 体系的な事業内容

23. 物流部門

効率的な運搬車輛

25. 先進的な施設・設備

29. 第三者意見

30. 沿革、CSR活動のあゆみ

受賞歴

【報告対象期間】

2015年度(2015年5月1日~2016年4月30日)

※関連する報告で一部この期間が前後している場合があります。

【報告対象組織】

KINKANグループ本社(4社)

【発行】2016年10月



【トップメッセージ】

近畿環境保全株式会社
代表取締役社長

株式会社湖南リサイクルセンター
代表取締役社長

西村忠浩

平素より我々の事業活動にご理解・ご協力をいただいておりますことに、まずは御礼申し上げます。また本年も昨年から引き続き「CSR報告書」を発行させていただきましたことに、関係各位の皆様重ねて感謝申し上げる次第であります。

さて、2016年度版「CSR報告書」を手にとりいただいた皆様はどのように感じられたでしょうか。昨年「環境」だけではなく、より広い範囲での報告書として再スタートいたしました。CSRを直訳いたしますと、企業の社会的責任となります。では、我々の社会的責任とは何でしょうか。それは決して慈善事業やボランティアではなく、継続的に企業が成長していく中で、利益を目的としながらも、自然環境に対する配慮や活動、社内の雇用環境や条件の改善、地域への還元や協働など多種多様な組織活動が社会において、認知され理解されることだと考えております。特に廃棄物処理業の置かれている状況は、どの業界よりも責任が重く、社会へ与える影響が大きいものと感じています。先般の【ダイコー事件】をみてもわかるように、当たり前ことができている、お客様との約束(契約)が守られていないという、まだまだ業界全体が上を向いて進んでいかなければならないのだと、強く認識した次第であります。

奇しくも2017年は、先代であります故西村裕司が京都の地で、廃棄物の仕事に従事してから55年を迎える節目の年となります。我々は、先代から引き継いだ50年以上にも及ぶ信頼と実績を誇りに、次のステージへと準備を進めていかなければなりません。ステークホルダーの皆様へ更なる安心と信頼をお届けするために、まずはしっかりと廃棄物処理業としての足元を固め、また新しい力を得るために、採用や人材育成に重きを置き、新しい分野にも果敢に挑戦し、グループ全体で着実に成長できるよう、組織一丸となって取り組んでまいります。

その取り組みが、2017年度版のCSR報告書で皆様にお届けできるよう、この地域に必要とされ、また我々がこの地域に生かされていることの感謝を忘れずに、この報告書を通してもらえる喜びと幸せを胸に、社員一同さらに精進してまいります。

これからも引き続き、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶に代えさせていただきます。



K + 3 =

基本理念

基本理念
3
K

感動の 

私たちが行動を起す源は、感動です。感動がないと、人は動きません。

環境の 

私たちの活動指針は、環境です。迷ったときは環境を最優先に物事を運びます。

改革の 

私たちが考えているのは、常に改革です。改革なくして発展はありません。

この気持ちをスタッフ全員が心に刻み、積極的に挑戦していくグループであり続けます。

【グループ概要】

【会社名】 近畿環境保全株式会社 (会社設立 1975年6月11日)
【代表者】 代表取締役社長 西村 忠浩
【資本金】 1,600万円
【所在地】 本社 / 〒525-0041 滋賀県草津市青地町196番地

【会社名】 有限会社ラゴ (会社設立 2005年1月12日)
【代表者】 代表取締役 西村 美代子
【資本金】 300万円
【所在地】 本社 / 〒525-0041 滋賀県草津市青地町196番地

【会社名】 株式会社湖南リサイクルセンター (会社設立 2001年3月22日)
【代表者】 代表取締役 西村 忠浩、代表取締役 西村 美代子
【資本金】 1,000万円
【所在地】 本社 / 〒520-3114 滋賀県湖南市石部口三丁目6番13号

【URL】 <http://www.kin-kan.co.jp>

【会社名】 株式会社きぶら (会社設立 2008年4月1日)
【代表者】 代表取締役 西村 忠浩
【資本金】 100万円
【所在地】 本社 / 〒520-3114 滋賀県湖南市石部口三丁目6番13号

【業務内容】
産業廃棄物中間処理業 一般廃棄物中間処理業
産業廃棄物収集運搬業 一般廃棄物収集運搬業
特別管理産業廃棄物収集運搬業
資源物再生事業 / 建設解体業 / リフォーム・外構工事
環境機器販売 / 廃棄物全般のコンサルタント業務



環境経営への ベースライン

持続可能な社会の実現のために
できることを一生懸命行います。

KINKANグループは事業を行うことにより、
環境や社会へ影響を与えています。

当グループでは、廃棄物の適正な処理やコンプライアンスの徹底、リサイクルの推進などに努め、環境への負担を減らしながら、お客様やステークホルダーの皆様へのよりよいサービスの提供を目指しています。それには、労働環境の改善や福祉への取り組みを推進し、安心して楽しく働ける職場づくりに努めています。

また、当社では、社会貢献および教育活動に力を入れています。廃棄物処理のプロとして、地域社会と次世代へ良い影響をもたらすことができるよう、KINKANグループだからこそできる取り組みを行っています。

滋賀県で活動している会社として、滋賀県の自然環境を守ることは不可欠であり、常に当社でできることを考え、びわ湖や森林などの保全活動を行っています。また、地域とのコミュニケーションを忘れず、応援活動やイベントへの参加を推進しています。



【スタッフコメント】

営業部・環境事業部 統括部長 西村 篤

当グループの行動の指針は3Kをはじめとした基本理念やEMSです。

企画を立案したり、物事を進める中で、基本の軸を再認識できます。

スタッフ一同、毎朝朝礼で唱和することで、想いを共有できることが、ブレずに真っ直ぐ事業活動ができる強みです。





EMS

環境マネジメントシステム

人と地球に“いい” コミュニケーションパートナー

かけがえのない地球を大切にしたい。
そんな思いを実現するために
KINKAN グループは環境に配慮した
経営を目指します。

当グループは、資源リサイクルと廃棄物の
収集運搬及び中間処理業を3本柱とし、
適正な再資源化、処理を通じて、
循環型社会の構築に努めます。

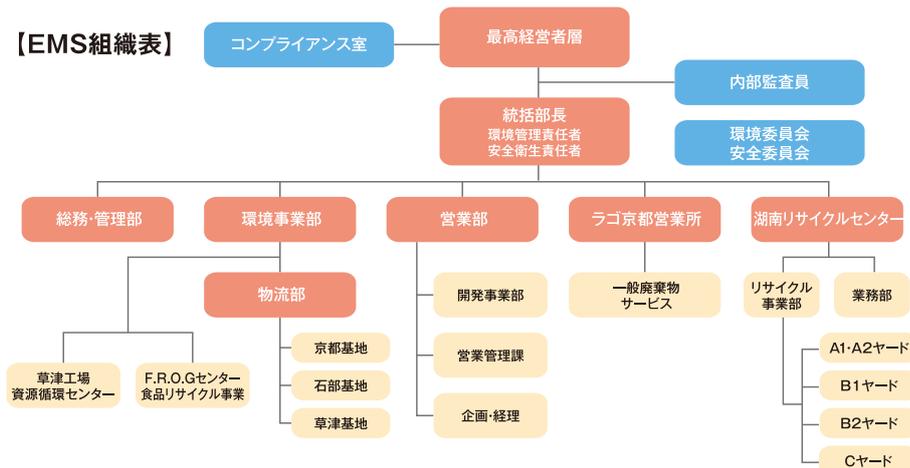


KINKANグループ 環境活動方針

- 1 廃棄物を資源と認識し、適正に再資源化、再利用、再生利用、
処理することに努めます。
 - ① 資源の有効利用と、社内から出る廃棄物の分別及び再資源化に努めます。
 - ② 中間処理後産業廃棄物のリサイクル率向上に努めます。
 - ③ 地域に根ざした環境事業の推進で、地域社会への貢献に努めます。
- 2 環境関連法規制・条例及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
- 3 事業活動から生じる環境負荷を低減するため、具体的環境目的・目標を定め、
環境マネジメントシステムを継続的に改善することにより、環境汚染の予防に努め、
環境保全活動を推進します。
- 4 全構成員が、環境保全事業に従事する自覚を持ち、
常に環境に配慮した行動を心がけるよう周知し、環境に関する教育及び啓蒙を行います。
- 5 本方針を実行し、維持し文書化して、全構成員に周知徹底するとともに、
社外にも情報開示します。

2005年9月6日 現在

【EMS組織表】





当グループは 2005 年より
環境マネジメントシステム ISO14001 を
実施しています。
環境への負担を軽減するために、
前年度よりもさらに高い目標を掲げ、
環境経営を行っています。
2014 年度から新しい期間を始め、
3 年間の目的目標を決めました。



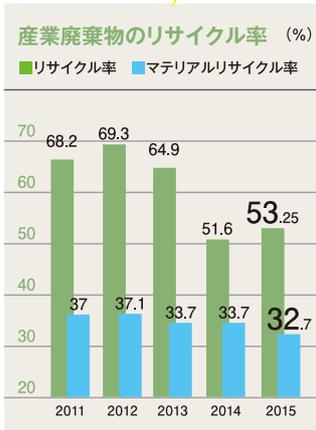
✓ 湖南リサイクルセンター
産業廃棄物のリサイクル

産業廃棄物の中間処理に特化した
湖南リサイクルセンターにて
年々リサイクル率の向上に努めています。

中間処理後産業廃棄物のリサイクル率向上に
努めるという環境方針のもとに、マテリアルリサ
イクルができる有価物を増やすよう目標を立て
ています。また、維持管理目標として、マテリア
ルリサイクル以外のリサイクル方法(サーマルリ
サイクル、RPF燃料など)で処理される廃棄物の
量を把握しています。

マテリアルリサイクル率の目標値は34.7%で
したが、達成することはできませんでした。理由
としては、お客様自らの分別が進んでいて、産業
廃棄物として搬入される廃棄物はほとんどマテ
リアルリサイクルできないものとなっていること
が挙げられます。また、当社の選別方法に改善す
べきなどがあることも考えられます。

改善策として2016年度から「選別指導」を行
いながら「二交代制システム」を導入しました。
効率の良い選別ができるように、作業時間を延
ばした二交代制による選別作業を行い、廃棄物
の種類による選別を指導しています。



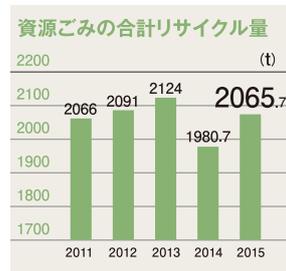
マテリアル
リサイクル率
32.7%

✓ 資源循環センター
資源ごみのリサイクル

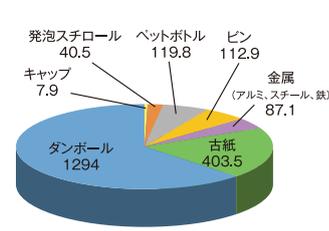
事業系一般廃棄物とともに回収される
資源物は資源循環センターにて
リサイクルされます。

当社は、事業系一般廃棄物を排出しているお客様から別の車で資源物も
回収しています。回収された資源物は資源循環センターにて選別され、各リサ
イクル先に搬出されます。2015年度にリサイクルに繋がった資源物の重量は
2065.7tであり、昨年度より約4%増加しました。

ISO14001目標としては、2013年度実績より2%増加を目指しましたが、
目標を達成することはできませんでした。改善策として、事業系一般廃棄物を
排出されているお客様を増やし、資源物のリサイクルを進めています。



2015年度資源ごみのリサイクル量 (t)



資源ごみ
リサイクル量
2065.7t

✓ 湖南リサイクルセンター
木くずのリサイクル

木材パレットや建設系廃木材の木くずを
より効率的に再利用するために、
専用の破砕施設を設けています

木材パレットや生木などの木くずをより効率的
に再利用するために、専用の破砕施設を設
けています。当社にてチップ化された木材は品質
により製紙原料または建材、燃料として再利
用されます。

2015年度の目標は搬入される木くずの
90%をリサイクルに繋げることでしたが、実績
としては99.7%で目標を達成し、木くずのほぼ
全てをリサイクルに繋げることができました。



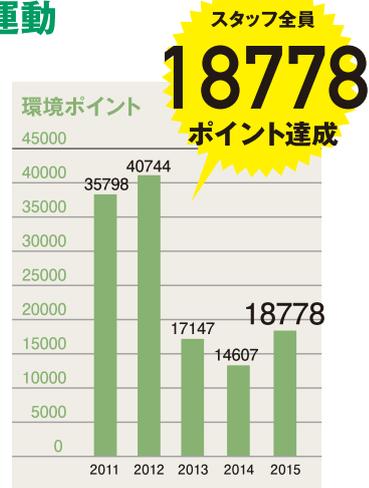
木くず
リサイクル率
99.7%
目標達成

✓ 環境ポイント運動

社員の取り組みとして、
毎年継続して資源物回収
運動を行っています。

社員に缶、ペットボトル、新聞などの資
源物を家庭から収集してもらい、個数や
重さに応じてポイントが付与しています。
他にも、環境に関するイベントや清掃活
動に参加することでもポイントが与えら
れます。毎年、最も積極的に参加した20名
の社員を表彰するなど、社員の士気を高
めています。この取り組みもISO14001
に掲げる目標の一つとなっています。

2015年度の目標はスタッフ全員合計
13000ポイントを獲得することで、実績
は目標を大きく上回り、18778ポイント
を達成できました。2013年からポイントが急減しましたが、2015年度から情報システムを改
善し、持参してもらった資源物の報告がしやすくなった結果、管理できるポイント数も増えてき
ました。また、個人獲得ポイントの場合、2015年度も100ポイントを目標にしていたが、
100ポイントを達成できたスタッフは全員の約4割でした。



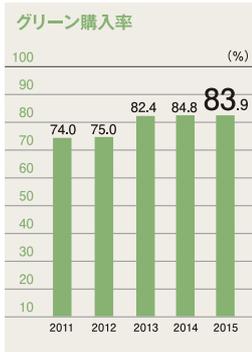
製紙原料チップ

✓ グリーン購入

環境配慮型商品の購入を推進しています。

当グループは2009年度より滋賀グリーン購入ネットワークの会員となっています。文具や事務用品を購入する際には、可能な限り環境配慮型商品を選択しています。

社内で購入する商品の中で、環境配慮型商品の割合を年々増加させるようISO14001の目標金額を設定しています。2014年度から3年間、購入金額の75%以上を維持できるように目標を決め、昨年に引き続き、2015年度も目標を上回り、購入率は83.9%となりました。



グリーン購入率
83.9%
目標達成



✓ 低公害車輛の導入

環境への負担を減らすため、車輛の購入も低公害車輛にこだわって導入しています。

2014年度から2016年までに低公害車輛を3台増車する目標を立てています。

2015年12月に3tのアムロール車輛1台を購入し、目標を達成しました。購入した車輛はNox・PM対応車であり、2015年燃費基準達成車および2001年騒音規制車です。運搬車輛あつての業界だからこそ、環境に配慮できる車輛を選定しています。



低公害車輛
1台購入
目標達成

✓ 情報ポイント

当グループの情報を地域の皆様に発信することに対して、情報ポイントを付与しています。

営業部では、当グループの情報をCSR報告書やホームページ、SNS、産廃情報ネットなどを通じ、お客様やステークホルダー、地域の方々に対して幅広く発信し、情報ポイントを付与しています。

情報ポイントをISO14001目的目標の項目として管理し、2015年度の目標は115でした。実際の合計ポイント数は88となりました。昨年より増加しましたが、目標を達成できませんでした。来年度からSNSへの投稿をさらに積極的にを行い、地元や社会へ当グループの良さやCSR活動を幅広く伝えていきます。



2015年度
88P

ISO14001目的目標実施計画表

部門	環境方針	著しい環境側面	2015年度目標	2015年度実績
全部門	地域に根ざした環境事業の推進で地域社会の貢献に努めます。	環境ポイント制度	2015年末に13000ポイント以上獲得 (個人獲得ポイント100p目標)	➡ 18,778ポイント達成 個人目標40%達成
業務管理部門		グリーン購入	2015年度末まで75%達成	➡ 83.9%達成
(株)湖南リサイクルセンター	中間処理後産業廃棄物のリサイクル率向上に努めます。	産業廃棄物のリサイクル	2015年度末までに前年実績(33.7%)の1%向上(34.7%にする)	➡ 32.7%
(株)湖南リサイクルセンター	資源の有効利用と社内から出る廃棄物の分別及び資源ゴミの再資源化に努めます。	木くずのリサイクル	2015年度末に、木くずの排出量と搬入量の比を90%以上にする。	➡ 99.7%達成
資源循環センター	資源の有効利用と社内から出る廃棄物の分別及び資源ゴミの再資源化に努めます。	資源ごみのリサイクル	2015年度末までに、2%向上(2161.89tにする)	➡ 2065.7t
環境物流システム部門		低公害車輛の導入	2016年度末までに環境対応車3台を増車する	➡ 1台追加達成
営業部門	地域に根ざした環境事業の推進で地域社会の貢献に努めます。	情報ポイント	2015年度末までに115ポイントにする。(情報発信件数)	➡ 88件

維持管理項目

当社では、事業をしている中で、どうしても削減・増加しにくい、あるいは削減・増加の目標をたてることのできない項目については、維持管理を行い、データにより項目の状況を把握しています。そうしたことにより項目を意識し、なるべく削減・増加できるように心がけています。

部門	2015年結果		
	水道消費量(m³)	電気消費量(kw/h)	LPガス消費量(m³)
全構成員 (近畿環境保全(株))	1272(↑)	72032(↓)	26.7(↑)
全構成員 ((株)湖南リサイクルセンター)	2006(↑)	216000(↑)	8.8(↓)
全構成員 ((有)ラゴ)	453(↓)	6170(↑)	
全構成員 (F.R.O.Gセンター)	632(↓)	40463(↑)	
	太陽光発電 13857kw/h(↑)		

部門	2015年結果	
業務部門	紙の使用量	2,53kg/名(↓)
	紙の排出率	40.3%(↑)
(株)湖南リサイクルセンター	産業廃棄物のリサイクル率	53.3%(↑)
	廃油回収量	15750ℓ(↓)
	木くずの回収量	4957.1(↑)
環境物流部門	全車輛平均燃費	4.55km/l(↑)



【スタッフコメント】 船越忠司 (2287ポイント達成)

集めている資源ごみは自分の消費したものと、家庭からのものが多いですが、親戚も集めてくれているので、通勤の時に取りに行って、会社まで持ってきます。このポイント運動が始まった時から一番になりたくて、資源ごみをたくさん集めるように工夫しはじめました。今もトッ3に入るのが目標です！ 会社の目的目標ですので、達成への行動は当たり前と思っていますし、自分だけでなく、同僚にも声をかけています。毎月実績を管理できるように、収集ボックスを作って、実績を必ず書くように呼び掛けています。難しいないし、気持ちの問題でもありだと思います。できないことも努力すればできるようになる。これからも一位を目指して、資源ごみ収集運動を頑張りたいと思います！

自然環境

Natural environment

自然と生物多様性の 保全活動



滋賀県で事業を行っている当社にとって、地元の自然環境を守ることは私たちの使命でもあります。持続可能な事業を実施するためには持続可能な自然環境が不可欠です。

KINKANグループは地元の団体や企業と共に、びわ湖や水源の森にて様々な活動を行っています。

森林づくり

6年間森林整備の推進に 努めています

湖南市にある三雲生産森林組合のみなさんと「森林づくりパートナー協定」を結び、びわ湖の水源である森林を整備し、びわ湖を守る活動をサポートしています。この協定により、森林づくりにかかる費用と労働力を提供し、年に2回力を合わせ、共に作業を行っています。

2015年より
5年間
延長



森林整備で地球温暖化防止にも 貢献しています

森林を元気にすると共にCO₂を吸収する機能を向上させ、地球温暖化防止にも役立っています。協定による森林整備の内容を毎年滋賀県庁森林政策課に報告し、滋賀県知事よりCO₂吸収証書をいただいています。2015年度のCO₂吸収量は68.13^tでした。協定を結んだ2009年から2015年まで、合計363.7^tのCO₂削減に貢献できました。



2009-2015
363.7t
CO₂吸収



2015年度には、11月7日に中央森林組合様と共に間伐作業を実施し、2016年3月12日には下草狩りを行いました。



【協力者様コメント】三雲生産森林組合 組合長 石橋芳秋 様

企業活動における環境保護と森林保全に、先進的にお取り組み頂く御社と、今まで組合としてできなかったことを取り組んだり、草刈りや間伐をしたり、しいたけの植菌をしたり、大変楽しい時を過ごさせていただいたと思っており、これからも森林保全に向けた新しい取り組みを、一緒にできたらと考えております。昨年より5年間再延長いただき、感謝しております。環境活動の一つである森林保全活動は、民間企業やNGO/NPOなどの公的機関以外の主体への期待が高まっており、御社の取り組みに深く感謝申し上げます。今後はいろんな意味で山をもっと知って頂くことが大切だと思っております。それには山を歩いたり、木の種類を覚えたり、山(森林)を育てるといふことの意義や、楽しみを含めてともに行動できたらと思っております。これからの森林は、水源の保持を目的とした間伐の推進や、成長した木の伐採ができたかと思えます。しかし、今一番の悩みは、組合の存続、役員の後継者不足です。山の魅力がないという時代であり、頭の痛い現状です。とは言え、未来に、地球温暖化を防ぐ豊かな森林と災害を起こさない豊富な水をたたえる緑のダムを引き継ぐため、地域の力を結集し頑張ります。



ヨシでびわ湖を守る活動

ヨシ刈り活動への参加は
5年目になりました

「ヨシでびわ湖を守るネットワーク」のメンバーとして、草津市や近江八幡市にて湖岸や西の湖のヨシを刈る作業に参加しています。ヨシを刈りとることにより、びわ湖の浄化を促進し、ヨシの有効利用にも貢献しています。

2015年度には、2016年2月6日と3月5日の2回、ヨシ刈り活動に参加しました。

スタッフが活動に参加することで、スタッフのびわ湖やヨシへの関心が高まる上、若手社員が先輩とともに汗を流して活動することは、社内コミュニケーションやチームワークの向上にも役立つと実感しています。



びわ湖のヨシで作った名刺を使用しています！



清掃活動

地域における清掃活動や、美化活動に毎年積極的に参加しています。

KINKANグループ3社で、会社周辺の清掃活動を毎月一度実施しています。主にゴミ拾いや草取りを行っています。また、毎年7月1日前後に行われる「びわ湖の日美化活動」にも参加し、地域の様々な企業とともに湖岸や公園のゴミ拾いを実施しました。

清掃活動を通じて地域との距離が近くなり、地域におけるスタッフの存在感とスタッフの責任感や地元への愛着が育つと信じています。



毎月の清掃活動



「びわ湖の日」清掃活動



2015年11月1日に
京都まち美化大作戦に参加しました。

外来魚駆除

びわ湖の生態系を脅かすブラックバスやブルーギルなどの外来魚を駆除し、固有の生き物や生態系を守り続けていく大切さを市民に啓発することを目的に、「外来魚駆除釣り大会」が6月13日に東近江市の伊庭内湖にある能登川水車とカヌーランドで開催され、当社のスタッフも参加しました。



【スタッフコメント】株式会社湖南リサイクルセンター 営業課長 西村幸佑

当社のCSR活動の中でも地域密着度の高さと地域社会へ貢献出来る活動に参加していることは私にとって良い経験となっています。びわ湖の水源となる森林整備から琵琶湖岸のヨシ刈りと繋がりのある活動は自然環境の勉強にもなりました。昨年に森林づくりパートナー協定を5年間延長することとなり、こういった活動はトレンドによる一過性のもので終わらせること無く、継続して取り組んでいきたいと考えています。

自然環境

Natural environment

低炭素社会への取り組み

[カーボンオフセット]

植林による環境保全

地球温暖化は世界的に大きな問題となっています。当社の環境への負担を軽減させるために、中国の内モンゴルにおける植林活動を応援しています。廃棄物を収集運搬する際、毎月排出されるCO₂の約5%を吸収できるカラマツを月に8本植林していただくことにより、当社の二酸化炭素排出量に対してカーボンオフセットをしています。

植林活動を始めた2008年から現在まで704本のカラマツの植林を支援してきました。これは、一年間合計約800kgのCO₂削減量に相当します。植林を通して、地球温暖化防止だけでなく、砂漠化の進行をくい止め、土壌回復による生物多様性の確保など地球環境の保全にも貢献しています。



森の状況は <http://carbonfree.co.jp/tree-station/> でご覧になれます

[新エネルギー]

太陽光発電の設置

2014年8月よりF.R.O.Gセンターの施設に約12kwの太陽光パネルを設置し、太陽光発電を行っています。2015年度には13,857kw/hを発電し、それは約7.2tCO₂削減効果となります。



2015年度
7.2t
CO₂削減

LED照明の使用

2015年9月より当グループ湖南リサイクルセンターにて全電球をLED照明に交換しました。以前に比べ、電気使用量は半分以下に減りました。



[地域における循環]

BDFプロジェクト

循環型社会を目指し、2006年度から廃植物油を回収しています。その廃植物油は豊郷町にある油藤商事株式会社にて精製され、作られたバイオディーゼル燃料(BDF)は地域やお客様の車両に使用することができます。

BDFは新たに二酸化炭素を排出しないため、「カーボンニュートラル」な燃料であると言われています。またこの活動は、地域で排出された油を地域でリサイクルし再利用することにより、循環型社会の実現に近づくことができます。



油回収量
41.27%
増加

【回収車にBDFを使用しています】



2015年度は15750リットル油を回収しました。
軽油の代わりにこの油で作られたBDFを使う場合、41.27tCO₂を削減することができます。

kINKANグループだからこそ
できる活動で、資源ごみの価値を
さらに活かし、地域に役立てます



地域社会
Regional community

寄付活動

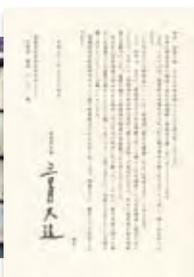
KINKANグループは、2010年度より資源ごみでびわ湖の環境保全活動に協力しています。お客様から提供していただいた缶やペットボトル、キャップ、古紙、廃植物油などの資源ごみを、「循環型社会創造研究所えこら」を通じ、びわ湖の環境保全と環境意識の促進に活かしています。

資源ごみのリサイクルで集まった金額は、滋賀県の「マザーレイク滋賀応援基金」と公益財団法人 淡海文化振興財団の「びわ湖の日基金」へ寄付されます。

2015年度には、約32.14tの資源ごみを寄付につなげることができました。



びわ湖の日基金へ寄付



約32.14t 資源物
約150,000円寄付

循環型社会創造研究所

えこら

「循環型社会創造研究所えこら」とは？

持続可能な社会の実現を目指し、資源ごみでびわ湖の環境保全や環境学習、企業における研修、エコツアーの実施などを行っています。



近畿環境保全さんがなければ、この活動が成り立っていないと思います。感謝の気持ちでいっぱいです。お蔭さまで、資源ごみを提供して下さる会員の方が増え、えこらの環境学習も成長してきました。この活動を通じ、多くの方々のごみへの考え方や価値観が変わり、「資源ごみをもっと大事にしたい」、「分別に協力します」など感謝の言葉をいただき、本当にうれしく思っています。地球環境が変化している現在、国際教育を含む環境学習が非常に重要になってきていますが、それには地元のリサイクル会社の協力も不可欠だと思っています。今後も、近畿環境保全の皆さんと共にエコの道を歩みながら、社会をよりよくしていきたいと強く思っています。



循環型社会創造研究所
えこら
代表 藤田アニコー

[環境イベント]

Live! Do You Kyoto?

音楽を通じてエコを考えてみよう、2010年から毎年、京都で音楽イベント“Live! Do You Kyoto?”が開催されています。

当グループは、スポンサーとキャップ回収への協力者として毎年応援しています。また、Live! Do You Kyoto?を始め、京都の様々なエコなイベントにて回収されたキャップを当グループ京都営業所へ受け入れ、リサイクルした収益を寄付に繋げています。



キャップ
400kg
回収

読売新聞との取り組み

読売新聞を購読されているお客様から古新聞や缶・ペットボトル・雑誌などを回収しています。読売新聞の販売店と共同で始めたこのプロジェクトで、リサイクルした収益の一部を様々なところに寄付しています。



資源物
60.3t
回収

地域社会

Community

地域との コミュニケーション



プロバスケットボールチーム 「滋賀レイクスターズ」を スポンサーとして応援しています。

2010年より地元のプロバスケットボールチーム「滋賀レイクスターズ」を応援しています。

試合会場内にてフラッグ広告をしていただき、試合の応援にも参加しています。スポンサーとして地域との交流を図っているだけでなく、共にできる環境活動も行っています。

会場内にごみのエコステーションを設置し、会場に出たごみの分別を呼び掛けています。集まった資源ごみをリサイクルした収益の一部を「循環型社会創造研究所えこら」を通し、びわ湖の環境保全に寄付しています。

2015/2016シーズンで600kgの資源ごみが集まり、活動が始まった2010年から2015年度末現在まで約8.2m²のヨシを再生できる金額を寄付することができました。



【スタッフコメント】営業部 主任 牧 大地

当社は、試合会場にエコステーションを設置し試合後のゴミを回収しています。可燃ごみと資源ごみを分別する事で来場者の方にも分別意識を高めてもらっています。滋賀レイクスターズは、滋賀県唯一のプロスポーツチームですので、滋賀県のシンボルとして今後も活躍してほしいです。当社も、地域密着企業として滋賀レイクスターズを応援していきたいと思ひます。



様々な環境イベントに出展

びわ湖環境ビジネスメッセ

毎年、「環境と経済の両立」を基本理念に開催されるびわ湖環境ビジネスメッセに2015年にも出展しました。今年度のテーマは「安心・安全のコンプライアンス」であり、ご来場の皆様に安心・安全で、環境に配慮したサービスや様々なCSR活動を紹介しました。メッセは、当社を紹介でき、地域とコミュニケーションができる大事な場だけではなく、若手社員の研修の場でもあります。

毎年若手のスタッフを中心となって出展の準備と企画を行い、当日は先輩と共に会社の事業を説明したり、接客したりしながら、知識とコミュニケーションスキルを向上させ、仕事がスムーズにできるように成長します。

2015年のびわ湖環境ビジネスメッセに33,080名が来場され、当グループブースには約1,000名の方々にお越しいただきました。



草津市エコフォーラム

草津市において、環境問題や取り組みなどの最新情報に関する講演会と展示会を含むエコフォーラムが毎年開催されます。地元会社や行政、一般の方々との交流がはかれる良い機会ですので、2015年にも出展してきました。



愛する地球のために約束する協定

KINKANグループの本社である近畿環境保全株式会社では、2009年から地元の草津市と「愛する地球のために約束する協定」を結んでいます。温暖化防止や環境保全への取り組みを約束し、草津市に毎年報告しています。



【コメント】草津市 環境課長 宮田勝一様

このたび、近畿環境保全株式会社様が「CSR報告書2016」を発行されますことを心から喜び申し上げます。本市では、市民、事業者、団体等の方々から自らあるいは協働して、地球温暖化対策を始めとする環境保全に取り組んでいただくことを目指し、「愛する地球のために約束する協定」の締結やイベントの開催等を行っています。近畿環境保全株式会社様が、本市と協定を締結され、地球温暖化防止活動に取り組んでおられるほか、草津エコフォーラム等のイベントにも御参加いただくなど、積極的に本市との協働による取り組みを進めていただいていることに心よりお礼申し上げます。今後とも市への御協力をお願いするとともに、貴社のより一層の御発展を心よりお祈り申し上げます。

教育 Education

環境学習の実施



子ども向けの環境学習を積極的に実施しています。

廃棄物の収集運搬と処理をしている当グループは、業界のプロとして子どもの社会教育に役立つと思い、2008年から小学校における環境学習を実施しています。

廃棄物のことやリサイクル方法などを次世代の子どもたちに伝えることは、私たちの使命であり、環境意識の向上と持続可能な社会の実現につながると信じています。

子どもたちには、まずごみの種類、分別とリサイクル方法について学習してもらいます。その後、廃棄物の回収はどうされているのか、ドライバーはどのような仕事をしているのか、実感してもらうために、実際に車輻にごみを積み込む作業の体験してもらいます。また、廃植物油の精製の仕

組みを見学したり、プレスされた缶やプラスチックインゴットなどに触れあったりして、子どもたちはリサイクルを肌で感じることができます。更に、クイズ形式でゲームをしながら、知識を深めていきます。

2015年度には、湖南省の三雲東小学校と野洲市の三上小学校にて4年生の環境学習を行いました。



湖南省立三雲東小学校
野洲市立三上小学校



【先生コメント】野洲市立三上小学校 福田先生

バッカー車体験を通して、子供たちは分別する大切さを学びました。捨てればごみになるけれど、分別すれば資源になることに気づきました。今、三上小学校4年生では総合的な学習で「3R運動」に取り組んでいます。「ごみを分別しよう」、「食品ロスをなくそう」と呼びかけるポスターを作ったり、要らなくなった図書を集めて、「学級文庫を作ろう」と活動したりしています。また、ペットボトルや牛乳パックでおもちゃを作ったり、プルタブやペットボトルのキャップを集めたりしています。これらの活動すべてバッカー車体験によって意識づけされたのです。素晴らしい体験をありがとうございました。

今日は、いろいろとおしゃ
てくれて、ありがとうご
さいました。パッカー車
の中をみておどろきま
した。ありがとうごさいませ

来てくださったみなさん
今日は、いろいろおしゃ
ありがとうごさいました。
ごの収集は、とてもたいへん
なと思います。これからも
頑張ります。

近畿環境保全会社の人
仕事に、わざわざおたの
みのために来てくれて本当に
ありがとうございます。
パッカー車は、ごみがでるの
かとてもおもしろかったです。
ありがとうございます。

近畿環境保全会社
パッカー車の運転席を見て
くれたり、いろいろおしゃ
ありがとうございました。
ありがとうございます。

クイズ
ゲーム

リサイクル
体験



二五八祭

二五八祭

公益社団法人東近江青年会議所が主催している二五八祭内の仕事体験広場「はたらキッズパーク」に、毎年出展しています。2015年11月3日にも多くの子どもさんにごみ収集運搬と選別の仕事を体験してもらいました。今年は特に分別レースというゲームが大人気でした。



【スタッフコメント】営業部 田中逸詩

私は今年初めて環境学習に参加させていただきました。実際に参加させていただいて、自分自身の勉強にもなりました。また、子どもたちから学習後に「これからしっかり分別する」といった言葉をもらい、環境に対する意識が高まる機会になったのではないかと思います。これからの日本の未来を担う子供たち一人一人がこうした考え方を持っていれば嬉しいです。

福祉

Welfare

福祉への取り組み



障がい者の皆さんと共に

地元のいしべ共働作業所と、しあわせ作業所の皆さんとともに作業を行っています。

当グループは障がい者雇用支援をしている、地元のいしべ共働作業所と、しあわせ作業所の皆さんとともに作業を行っています。2011年度より始めた「いしべ共働作業所」との取り組みでは現在6名の方が来られ、2014年度から連携している「NPO法人就労ネットワーク滋賀 しあわせ作業所」からは3名の方が来ています。



湖南リサイクルセンターにて紙類の分別やダンボールの開梱作業、資源循環センターにおいて溶融作業と缶・ペットボトルの選別作業をともに行っています。また、FROGセンターでは開梱作業も行なっています。

人数と作業の範囲を増やし、これからもこの取り組みを進めていきたいと考えています。

【パートナー団体コメント】小西賢一様

キンカンさんでは2年間働いています。発泡スチロールからシールなどを剥したり、ペットボトルの選別をしたりしています。きつい面でもありますが、やりがいもある。体力を使っているので、疲れますが、夜ぐっすり寝れます！
このような仕事をすると、ごみの分別は必要って思うようになりました。また、開けていないペットボトルもよくみえますが、もったいないなど感じます。将来、障がい者枠で企業に就職したいと思っています。



【パートナー団体コメント】田郷佑樹様

楽しいです！ しあわせ作業所に来たのは3年前で、お弁当屋さんなどの仕事をしてました。キンカンさんに来たのは去年ですね。
今はペットボトルの分別やキャップを外す作業をしています。最初は、ペットボトル以外のボトルも混ざっているので、分けるのが難しかったのですが、スタッフの皆さんが親切に教えてくれて、もうなれてきました。発泡スチロールでできた熱いインゴットを出す作業はとても難しくみえますが、いつかやってみたいと思っています。



労働環境

Working environment

安全な職場づくり

スタッフが安全に仕事できるように、様々な面から職場を分析し、危険なところを減らしています。毎月一度の安全委員会では、各部署の責任者が集まり、工場や物流、各部署における危険箇所について話し合い、改善策を議論しています。また、スタッフの安全装備を設定し、人身事故が起こらないように工夫しています。



ドライバーの安全

車輻に「みまもりくん」という運行情報を管理するシステムを設置しています。毎日、運転日報が作成され、安全の面とエコの面で運転方法に点数が付けられます。「みまもりくん」によってドライバーの安全運転への意識が高まり、事故防止にも繋がります。

スタッフの健康の確保

毎年2月にスタッフの健康状態を詳しく調べる健康診断を行っています。また、粉塵対策および熱中症対策として作業中、特別なマスクを付けたり、工場内にミストが出るシステムを導入しています。



女性の労働環境作り



仕事と家庭を両立しやすい職場づくり

当グループは女性が働きやすい職場づくりに努めています。女性スタッフは出産後、一年間の育児休業を利用して正社員で就業を継続するようにしています。また、パートで働ける場も作り、育児をしながら仕事をする女性スタッフを応援しています。



仕事
ON!

家族と
OFF!



パートさんもイキイキ働けます!

【パートタイムスタッフコメント】

営業管理課 中野明日香

昨年の9月からパートタイムで働いています。まだ小さい子どもがいますので、楽に通える仕事を探していました。キンカンに近いし、働ける時間帯もちょうどいいので助かります。



【スタッフコメント】営業管理課 八太亜希子

入社して11年目になります。既に3度の育児休業を頂いて、現在6歳3歳1歳の子育てに日々奮闘しています。育児休業制度のおかげで、休業している間は育児に専念する事で子供と貴重な時間を過ごす事が出来ました。職場復帰した際はスタッフの皆さんに暖かく迎えられ、子供をもつ社員も多く、子育てについての悩みなど気軽に話せる環境です。仕事と家庭の両立ができ、充実した毎日を送ることが出来ています。



労働環境

Working environment

スタッフの スキルアップ



社内研修

日々の仕事を効率よく行っていき、危険性にすぐ気づき防ぐ姿勢が、安全な職場づくりに繋がります。そのために勉強会や訓練を実施しています。リスクアセスメントに関する勉強会を年に二回行い、消防に関する訓練は年に一回、各グループ会社にて実施しています。

また、工場内で使用している重機や機械に関する研修を開催し、メーカーと連携して使用上の重要な知識や効率良い使用方法を学んでいきます。

当グループは ISO14001 を取得していることにより、スタッフ全員が目的目標を認識し、随時チェックできるようにするためには ISO 勉強会を実施し、各部署の目的目標を復習させ、達成するために対策を話し合います。



リフレッシュ工事安全大会

社外研修

スタッフのスキルアップを心掛け、随時研修の機会を与えています。エコスタッフ・ジャパン認定企業として、営業研修やドライバー研修、安全衛生研修と合同施設見学会などに参加し、スタッフの知識を向上させています。プロ意識があることにより、仕事に自信を持ち、よりスムーズに働ける上、お客様にもより良いサービスを提供できるようになります。

2015 年度には、8月21日に宮城県のオイルプラントナトリの施設を見学しました。BCP(事業継続計画)に関する勉強会をしました。また、11月20日に東京の白井グループのエコセンターにて、収集運搬業務に関する勉強会に参加しました。

さらに、若手社員を中心にスキルアップの為、(公財)産業廃棄物処理振興財団が主催する経営塾への入塾や、廃棄物管理士、エコ検定などの取得も支援しています。



白井グループのエコセンターにて





労働環境

Working environment

防災対策

安心・安全な
仕事環境づくり

火災対策

仕事や作業の危険性を把握し、未然に防止したり危険性を削減する対策を行っています。

当グループにとって最大の危険は火災です。万が一を想定し、緊急事態に対応するための対策手順を策定しています。また、スタッフ全員が手順どおりに実施できるよう、定期的に社内勉強会や訓練を行い意識の向上をはかっています。また、火災の原因となる物（ライター、発煙灯等）が廃棄物に混入しないよう、現場と営業が連携してお客様へ搬入禁止物の周知をはかっています。



事故防止対策

安全委員会の設置や社内での勉強会、訓練を行っています。

安全委員会は従業員自ら問題意識を持ち、立ち上げた委員会です。メンバーは環境事業部（物流グループ、施設グループ）、開発事業部、営業部、湖南リサイクルセンターの各担当で構成され、月一回の定例会議を行っています。工場内・物流業務等、業務の中に潜む危険箇所を挙げ、改善策を決定していきます。

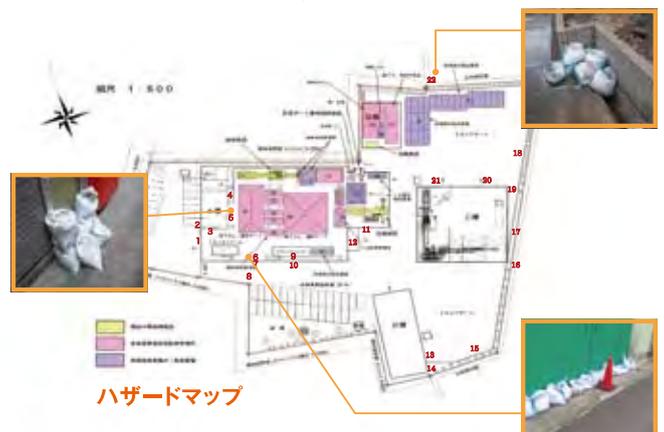
活動は定例会議のみならず、安全パトロールや勉強会の開催もしています。安全パトロールでは、週一回安全委員会のメンバーが各現場の見回りを行います。また勉強会は、各部署で月一回、社内全体では年二回開催されています。危険予知（KY）活動やリスクアセスメントについて学びます。



収集運搬の時に発生する油漏れの際、すぐに流出を防ぐことができる吸着セットを全車輛に設置しています。

水害対策

2013年9月に発生した台風18号の影響により、当グループの湖南リサイクルセンターが水害に遭い被災しました。この被災から、水害対策の必要性を再認識し、防災対策を強化しました。工場が河川に近く土地も低いことから、事務所内のフロアの嵩上げ、設備の擁壁の設置等を実施しました。また、災害時の行動マニュアルや工場内のハザードマップを作成し、災害を未然に防ぐように努めています。



BCP協定 (事業継続計画協定) esj

2014年より当グループは所属しているエコスタッフジャパンの認定企業40社でBCP協定を結びました。

BCP協定とは、「自然災害や不可抗力」により事業活動が継続困難な状況に陥った場合に認定企業が相互に支援し合う協定です。



EMS

環境マネジメント
システム

処分地の視察

安心・安全な収集運搬および中間処理



工場見学



処分地の確認

お客様自身で、処分地を確認することができます。

廃棄物処理についての情報をお客様に提供するだけでなく、お客様自身の目で、処分地を確認することができます。ご希望があれば、当グループの施設はもちろん、最終処分地においても視察や確認が随時可能となっています。また、研修や環境学習のための工場見学会も行っています。

最終処分地に赴いての視察、処理の適正さを確認しています。

お客様から安心して処理を任せいただけるよう、最終処分地に赴いての視察、処理の適正さを確認しています。お客様にご提案するのは、適正さの確認が得られた最終処分地のみとなっています。



2016年1月24日に三雲生産森林組合の皆様が
湖南リサイクルセンターの見学にいっしょにしました。



2015年11月26日に、
当社の廃プラスチックなどで
固形燃料を作っている
エビス紙料様にて視察を行い、
適正処理を確認しました。

コンプライアンス

安心・安全への取り組み

法規制の遵守

事業者の産業廃棄物はその事業者自らが処理しなければならない原則がありますが、処理ができない場合は、廃棄物処理業者に委託することが出来ます。

当グループは排出事業者の皆さまから、収集運搬と処分を委託していただきます。様々な地域における収集運搬業許可と処分業許可を取得し、法を遵守した適正処理を行っている上、マニフェストによって廃棄物の流れを最初から最後まで管理しています。

【スタッフコメント】

コンプライアンス室 室長 永戸 浩一

当社の今年度の環境測定の結果は基準値以内でした。今年（2016年1月）から産業廃棄物の優良認定の取得に向け取り組んでおり、岐阜県で初めて認定されました。今後も当社の許可取得先すべてで優良認定を取得していくつもりです。又、現在ISO14001:2015の構築に向け作業を進めています。法遵守や環境だけでなく安全・交通・情報等の幅広い取組を進めステークホルダーの皆様へ安心安全な処理処分を提供できるよう活動していきたいと考えております。



当グループの事業で環境への負担を把握するために、廃棄物の処理および収集運搬の際に発生する騒音・振動・臭気に対して毎年調査を行っています。騒音規制法・振動規制法・悪臭防止法の基準をもとに調査し、基準値の以下となるよう努力しています。又、当社は特定施設にはなりません、水質汚防止法の項目に沿って自主的に水質も測定しています。

法律・条例 一覧(五十音順)

- 悪臭防止法
- 各種リサイクル法
- 火災予防条例
- 揮発油等品質確保法
- 計量法
- 建設業法
- 個人情報保護法及び滋賀県個人情報保護条例
- 湖南省環境基本条例
- 滋賀県ごみの散乱防止に関する条例
- 滋賀県生活排水対策の推進に関する条例
- 消防法
- 浄化槽法
- 振動規制法
- 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律及び滋賀県人権尊重の社会づくり条例
- 石綿障害予防規則
- 騒音規制法
- 男女雇用機会均等法
- 電気事業法
- 道路運送車輛法
- 道路交通法
- 同和対策特別処置法
- NOx・PM法
- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- フロン回収破壊法
- 暴力団等排除条例
- 労働安全衛生法

遵守確認日
2016年2月13日
評価:
すべて遵守

【騒音レベルと振動レベルの調査結果と評価】

当グループ全社にて基準値をクリアできました。

騒音レベル	近畿環境保全株式会社	株式会社湖南RC	F.R.O.Gセンター	南ラゴ
規制基準	65dB	70dB	70dB	70dB
調査結果 (場所/No1)	57dB	57dB	56dB	58dB
調査結果 (場所/No2)	55dB	55dB	55dB	58dB
評価	○	○	○	○

振動レベル	近畿環境保全株式会社	株式会社湖南RC	F.R.O.Gセンター	南ラゴ
規制基準	65dB	70dB	70dB	65dB
調査結果 (場所/No1)	45dB	40dB	38dB	41dB
調査結果 (場所/No2)	43dB	44dB	44dB	39dB
評価	○	○	○	○

【臭気測定の結果と評価】

当グループ全社にて基準値をクリアできました。

臭気レベル	近畿環境保全株式会社	株式会社湖南RC	F.R.O.Gセンター
規制基準	12	敷地境界線 14	
試験の結果 (場所/No1)	10以下	10以下	10以下
試験の結果 (場所/No2)	10以下	10以下	10以下
評価	○	○	○

【水質】

放流水に関してもデータ管理を行っており、年一回水質に関する調査を自主的に実施しています。

計量対象項目	単位	計量の結果		計量の方法
		近畿環境保全株式会社	株式会社湖南RC	
ルマルヘキサン抽出物含有量	mg/L	0.5未満(→)	0.5未満(→)	環境庁告示第64号付表
大腸菌群数(デソ法)※	個/m	200(↑)	210(↑)	厚生省・建設省令第1号
水素イオン濃度		7.1(→)	6.8(↓)	JIS K0102 12.1
(pH測定時試料温度 ※)	℃	19.9(↓)	18.4(↓)	JIS K0102 7.2
浮遊物質	mg/L	1.4(↓)	5.0(↑)	環境庁告示第59号付表
化学的酸素要求量	mg/L	4.1(↓)	11.3(↑)	JIS K0102 17
生物化学的酸素要求量	mg/L	5(↓)	12(↑)	JIS K0102 21及び32.3
燐含有量	mg/L	0.1未満(↓)	0.1未満(→)	JIS K0102 46.3
窒素含有量	mg/L	0.5未満(↓)	0.9(↑)	JIS K0102 45.2

※印項目は、計量証明対象外項目です。()は昨年度と比較。

事業エリア

安心・安全な収集運搬および中間処理

当グループは産業廃棄物収集運搬、特別管理産業廃棄物収集運搬、事業系一般廃棄物収集運搬、産業廃棄物と一般廃棄物の中間処理許可を幅広く取得しています。

滋賀県湖南エリアや湖北広域、彦根市と愛知郡愛荘町、また京都市における一般廃棄物収集運搬の他、石川県から香川県までの15府県にて産業廃棄物を収集運搬しています。

当グループは2015年度より、6府県にて**優良産廃処理業者**に認定され、他の県においても許可更新の際、優良認定を申請していきます。優良産廃処理業者として、厳しい基準に適合しながら、お客様により安心していただけるサービスを提供できるよう、日々の適正処理に取り組んでいます。

優良産廃処理業者認定制度を活用して適正処理を進めていきます

優良産廃処理業者認定制度とは、通常の許可基準よりも厳しい基準に適合した優良な産廃処理業者を、都道府県・政令市が審査して認定する制度です。平成22年度の廃棄物処理法改正に基づいて創設され、改正法の施行日である平成23年4月1日より運用が開始されました。

優良産廃処理業者認定制度の認定を受けるためには、以下の基準に適合する必要があります。

- ① 遵法性
- ② 事業の透明性
- ③ 環境配慮の取組
- ④ 電子マニフェスト
- ⑤ 財務体質の健全性

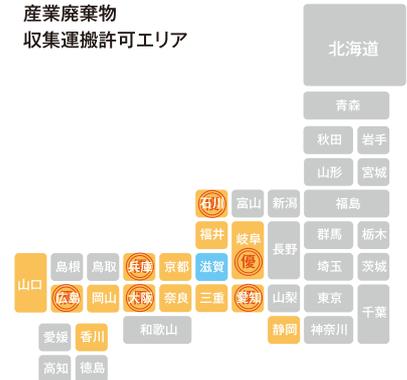
※詳しくは環境省HPにて



現在、優良認定がある府県：
石川県、岐阜県、愛知県、大阪府、兵庫県、広島県

当社許可について詳しくは sanpainet.or.jp を御覧ください。

産業廃棄物収集運搬許可エリア



一般廃棄物収集運搬許可エリア



許可都道府県及び許可品目

○…産業廃棄物収集運搬業 ◎…積替え保管の許可もある品目

品目	石川	福井	岐阜	静岡	愛知	三重	滋賀	京都府	京都市	大阪府	兵庫県	奈良	岡山	広島	山口	香川
燃え殻	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
汚泥	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
廃油	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
廃酸	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
廃アルカリ	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
廃プラスチック類	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
紙くず	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
木くず	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
繊維くず	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
動植物性残渣	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ゴムくず	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金属くず	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ガラス・陶磁器くず	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鉱さい	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
がれき類	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ばいじん	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特管 腐食性廃酸	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特管 腐食性廃アルカリ	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特管 特定有害廃酸	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特管 特定有害廃アルカリ	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特管 特定有害廃石綿等	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特管 感染性産業廃棄物	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特管 廃油	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※特管:特別管理産業廃棄物

産業廃棄物・特別管理産業廃棄物 収集運搬業 近畿環境保全(株)

府県	石川	福井	岐阜	静岡	愛知	三重	滋賀	京都府	京都市	大阪府	兵庫県	奈良	岡山	広島	山口	香川
石川県	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福井県	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岐阜県	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
静岡県	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
愛知県	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
三重県	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
滋賀県	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
京都府	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
京都市	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大阪府	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
兵庫県	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
奈良県	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡山県	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
広島県	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
山口県	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
香川県	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※普通産廃は石綿含有産業廃棄物を含む

一般廃棄物 収集運搬業 近畿環境保全(株)

愛知郡愛荘町、大津市、草津市、湖南市、彦根市、守山市、野洲市、粟東市、湖北広域
京都市 (南ラゴ)

中間処理業 近畿環境保全(株) 草津工場

破 砕	廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラス・陶磁器くず
-----	------------------------------

中間処理業 近畿環境保全(株) F.R.O.Gセンター

選 別	汚泥(有機性汚泥に限る)、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、動植物性残渣、金属くず
一般廃棄物処分業	食品不要物 (野菜くず、パン類、麺類、弁当類、液体食品類)

中間処理業 (株)湖南リサイクルセンター

破 砕	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラス・陶磁器くず、がれき類
破 砕	ガラス・陶磁器くず (石膏ボード)
圧 縮	廃プラスチック類、紙くず、繊維くず、金属くず
溶 融	廃プラスチック類 (発泡スチロール)
一般廃棄物処分業	粗大ごみ、不燃ごみ、木くず、剪定枝、刈草

※2016年9月現在

事業内容の強化

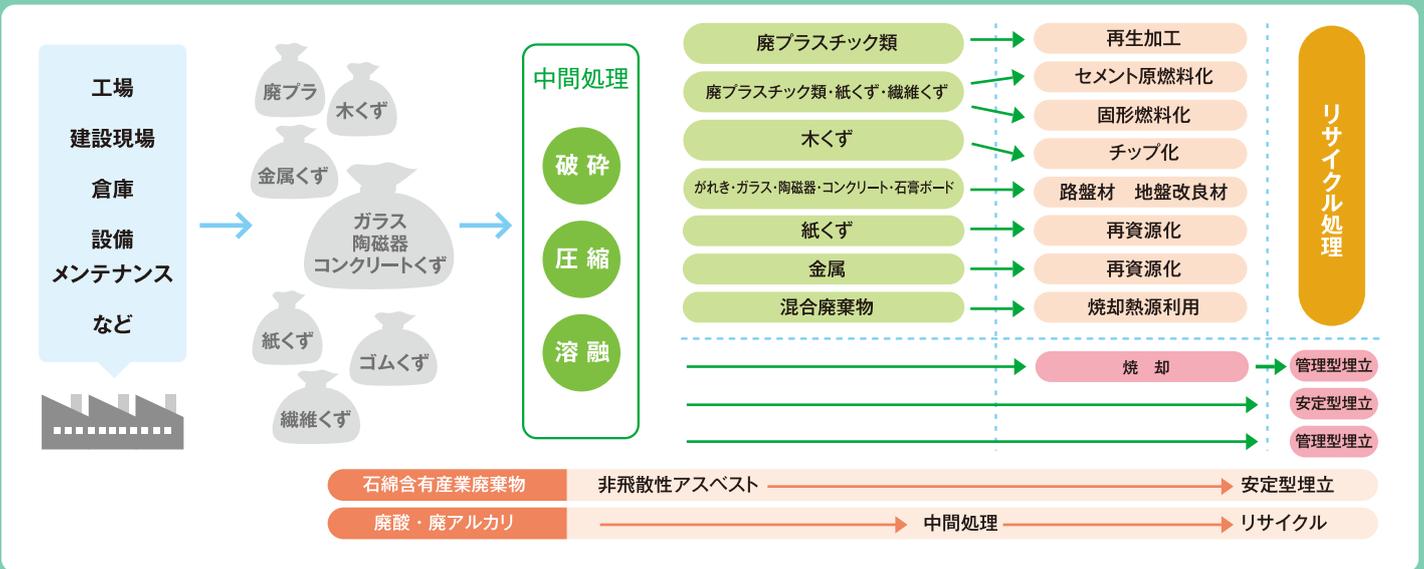
【体系的な事業内容】

当グループはお客様のニーズに応える為、多岐にわたる許可を取得し、収集から最終処分までを適切に管理しています。

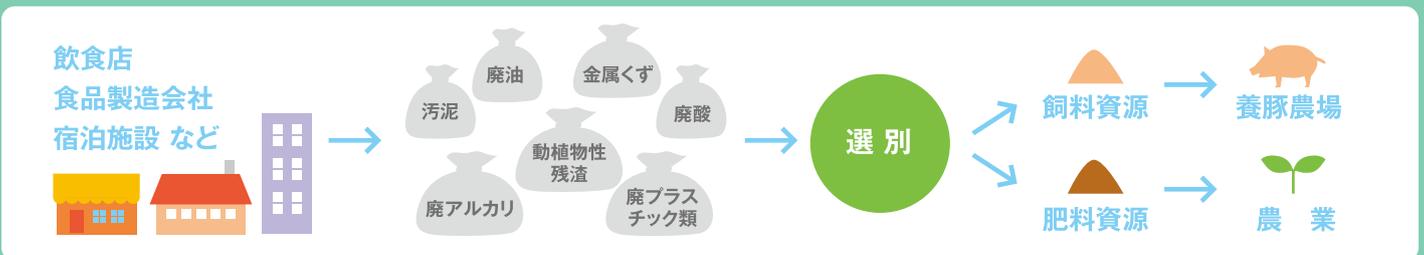
事業系一般廃棄物（収集運搬）



産業廃棄物（収集運搬・中間処理）



食品廃棄物（収集運搬・中間処理）



特別管理産業廃棄物（収集運搬）



当社グループ内で解体から廃棄物の収集運搬、処理まで一貫施工

【物流部門・効率的な運搬車両】

最適な車両を 手配してお客様の元へ

当社では、万が一の事故を防ぐため出発前の事前チェックによりドライバーの身だしなみや健康状態の確認・車両の点検を行います。廃棄物の引取り後は、みまもりくんやGPS等の運行情報システムにより廃棄物の適正運搬及び安全運転管理を実現しています。お客様から委託された廃棄物は契約に基づき、品目や性状によって適正な処分先へと運搬させていただきます。



事前チェック

- ✓ 免許・許可書
- ✓ マニフェスト
- ✓ 緊急事態マニュアル
- ✓ 健康状態のチェック
- ✓ 車両の点検

ドライバーは出発前に身だしなみや健康状態の確認を行い、免許証や許可証、マニフェスト等の携帯物チェック、車両点検を行います。
また、緊急事態マニュアルを各車両に携帯し、万が一の事故の際は各ドライバーが適切な対応をとれるように対策しています。



健康状態のチェック



車両点検

廃棄物に合わせた、運搬方法を提案

KINKANグループが保有する運搬車両は、お客様のニーズに幅広く対応できる充実のラインナップ。廃棄物の種類に合わせた多彩なコンテナと、最適な車両を手配し、お客様のもとへお伺いいたします。

ECCO回収サービス対象車

効率のよいルートでエコ

A社分 B社分 C社分

まとめて大量同時運搬でエコ

有価物 木パレ

混ざり プラ 陶磁器

ユニック付平ボディ車

台数：1台(4t)

ユニックで釣り上げての積み込みが可能です。リフトをお持ちでないお客様にご活用いただいています。様々なコンテナの積み合わせや小コンテナの交換が可能です。

15t 低床WING車

台数：2台(15t)

一度に多量の荷物を運ぶことができます。段積み、リフトでの積み込みが可能です。小コンテナやフレコンバッグなどの積み合わせにも適しています。

平ボディ車

台数：1台(9t)

小コンテナやフレコンバッグなどの積み合わせが可能です。

アームロール車

台数：3台(10t)、3台(9t)、7台(4t)、1台(3t)、2台(2t)

4t車

2t車

当グループのスタンダード車両です。荷台がコンテナになっているので、そのまま降ろして設置できます。



高度運行情報システム

みまもりくん



みまもりくんとは、最高速度・急発進、急ブレーキ等の運行情報を管理するシステムです。
当社では、みまもりくんによる運転日報をもとにドライバーへの安全運転意識の向上を図っています。



ETマニフェスト e-reverse

電子マニフェストに付加機能が付いたものです。ET-マニフェストはGPSデータによる運行管理が可能になり、e-reverseは、建設工事等の現場特性に合わせた運用ができます。

ガラス・陶磁器及び
コンクリートくず
がれき類 ゴムくず

KINKANグループ 「湖南リサイクルセンター」へ



湖南RC



許可品目

汚泥 燃え殻 廃油 廃酸
廃アルカリ 動植物性残渣
鉱さい ばいじん 感染性廃棄物
廃石綿



湖南リサイクルセンターで処理が出来ない廃棄物も協力業者とのパートナーシップにより、適正な処理先を提案します。



協力業者



パッカー車 台数：1台(9t)、8台(4t)、8台(3t)



圧縮型の積み込み車輦です。重量が軽く圧縮できる廃棄物を大量に積み込むことができます。

計量器付き：7台



巡回回収を行っていても、個別に重量計量ができる計量器付



環境への負担が少ない「天然ガス車」を導入しました!

ユニック付アームロール車

台数：1台(4t)



ユニックで釣り上げての積み込みが可能です。リフトをお持ちでないお客様のもとで、コンテナの積み合わせや小コンテナの交換ができ、荷台のコンテナをそのまま設置することも可能です。

2tアルミ車、軽トラック車

台数：各2台



主に資源物の回収に使用しています。道幅の狭い住宅地など、小回りの効く回収ができます。

冷蔵冷凍車 台数：1台(3t)



最適温度を保持する冷蔵車です。主に食品廃棄物の運搬に利用しています。

コンテナ一覧

フレコン



1m³



1.5m³



4m³



6m³



8m³

ふた付き



8m³



24m³

食品回収BOX



150ℓ-500ℓ

小口産廃回収BOX



60ℓ

湖南リサイクルセンター

【産業廃棄物 処理】



県下最大級の処理能力を有する工場

株式会社湖南リサイクルセンターでは産業廃棄物、一般廃棄物の処理とリサイクルを行っています。廃プラスチック類、木くず、紙くず、繊維くず、ガラス・陶磁器・コンクリートくず、金属くずなど8品目を取り扱っています。適正な選別、中間処理を行い、マテリアルリサイクルや、サーマルリサイクルに繋げます。また、お客様のニーズに合わせたリサイクル、処理を行います。

搬入・計量

廃プラスチック類 金属くず
紙くず 木くず 繊維くず
ガラス・陶磁器及びコンクリートくず
がれき類 ゴムくず



異物確認

荷下ろし前に、許可以外の品目が混入していないか目視で確認



選別

細かな手選別により各リサイクルルートへ



朝礼・ミーティング・終礼



「おはようございます、こんにちは、いらっしゃいませ、ありがとうございました」で1日の業務が始まり、一人一人が声を出す事により、その日の仕事へのスイッチが入ります。

朝礼後のミーティングでは、各自その日のスケジュールを共有し、終礼では一日の出来事と反省点を話し合い、業務が円滑で安全に進むようになっています。日々朝礼やミーティング、終礼を行い、お客様にとって安心、安全な会社を目指しています。

重機・設備の点検



お客様からお預かりした廃棄物を適正に処理をする施設や重機などは、事故や故障によってお客様にご迷惑をおかけしない為にも、毎日点検をし、定期的にメンテナンスも行っています。

お客様が湖南リサイクルセンターに廃棄物を出せば安心だと言ってもらえるように、私たちは日々努力しています。



【スタッフコメント】湖南リサイクルセンター 主任 吉田 光

湖南リサイクルセンターでは5年程前から、安全委員会を立ち上げ安全への取り組みを行ってきたお陰もあるのか重大な事故なども起こっていません。ですがここ最近、同業者での死亡事故などのニュースなどをよく耳にします。そこで湖南リサイクルセンターでは、安全への取り組みを徹底し、災害0を目指しています。

社員の安全を守りお客様に安心していただける会社を目指し頑張っています。

マテリアルリサイクル



搬入される廃棄物から有価物のプラスチックを当工場で粉砕、圧縮、溶融加工し、国内外に売却しています。
また、塩化ビニールパイプ専用の粉砕機を導入し、更にリサイクル率を向上させています。処理されたプラスチックは国内外にて、新しいプラスチック商品に生まれ変わります。

マテリアルリサイクルできない廃プラスチック

圧縮

セメント
リサイクル
廃プラスチック類
(塩ビを除く)

100t
日量処理能力



圧縮
処理



プレス梱包された廃棄物

株式会社トクヤマにて
セメントの原燃料化
としてリサイクル

ゼロ
エミッション
達成

セメントリサイクルできないプラスチック、紙くず、繊維くず、また、その混合物

固形燃料(RPF)
リサイクル
廃プラスチック類、
紙くず、繊維くず
(塩ビを除く)

100t
日量処理能力



圧縮
処理



プレス梱包された廃棄物

RPF製造工場で固形
燃料化され、製紙会社
のバイオマスボイラー
に使用してリサイクル



固形燃料

ゼロ
エミッション
達成

セメントにも、RPFにも適さない廃棄物

サーマル
リサイクル

廃プラスチック類、金属、
木くず、紙くず等、
混合物廃棄物、
複合廃棄物

200t
日量処理能力



破碎
処理



破碎処理された廃棄物

排熱を発電に利用後、
灰をリサイクル。
排熱を発電に利用後、
灰をスラグ・メタルとし
てリサイクル

ゼロ
エミッション
達成

破碎

木材チップ専用破碎施設 【産業廃棄物 処理】

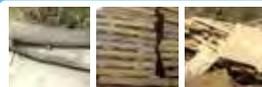


湖南リサイクルセンターに同設する木材チップ専用破碎施設では、種類ごとに搬入された木くずを、破碎施設によりチップ化します。木材チップは製紙原料や建材原料などに利用されています。原料として利用出来ないものは、バイオマスボイラーの燃料として活用しています。自然の恵みを有効に再利用することを目的に、木材のリサイクル率100%を目指しています。



様々な状態の木くずを有効にリサイクル

破碎



純木パレット、梁、柱材、
合板、腐敗パレット、生木、など



釘などの金属は
磁力選別機により
分けられます。

木くずを破碎してチップを製造します。



有価物として売却されます。



製紙原料チップ、
建材原料 バイオマス
ボイラー燃料チップ

廃棄となった製品の 安心・安全な処理

各種製造メーカーの機密情報が詰まった製品を、解体、分別後、マテリアル・サーマルリサイクルで安全かつ安心のリサイクルを実現。確実な解体、破碎処理を行なう事により、横流し等のリスクを排除。

安全管理



処理前、中、後の写真撮影と
報告書を作成。

安心処理



突発的な廃棄にも対応できる
処理能力と荷受け場所を保有。

安心対応



15t 低床WING 車
2台保有

突発的な多量の廃棄物にも、
迅速に適正な車輛をご用意。

資源循環センター

【資源物処理】



資源ごみのリサイクルステーション

ダンボールや古紙、空き缶、発泡スチロール、ペットボトル等の資源ごみをリサイクルする再生施設です。可燃ごみの収集車とは別に2tアルミ車にて収集を行い、資源ごみを巡回回収しています。お客様の持込みにも対応しており、有価物として買取りしています。

資源ごみの回収



選別圧縮機

磁石でアルミ缶とスチール缶を選別し、圧縮

製鋼原料として再生



圧縮処理された
空き缶

大型圧縮機

ペットボトルおよびダンボール、古紙を各種類ごとに圧縮

プラスチック原料、
製紙原料として再生



圧縮処理された
ダンボール、ペットボトル

溶融機

発泡スチロールを細かくし、
インゴットの形に溶融

プラスチック原料として再生



溶融処理された
発泡スチロール

処理した資源物はすべて有価物として販売しています。

F.R.O.Gセンター
FOOD RECYCLE ORGANIC GATHERING SYSTEM
【食品リサイクル工場】



【お客様コメント】

シマダヤ近畿
株式会社
総務課
高畑 秀 様

弊社において2015年に排出された食品廃棄物は全て肥料化し食品リサイクルに取り組んでいます。食品廃棄物の削減はISO14001における目的・目標になっております。そのため食品廃棄物を発生させないよう抑制の取組みもおこなっております。ライン集約や、生産性向上、従業員教育やメンテナンスに力を入れてきました。今後も、廃棄物の削減に力を入れていきたいと思っております。

近畿環境保全株式会社様には収集運搬から処分まで適正に処理して頂いています。環境に対する意識・法令順守に対する意識が高いため、弊社としても安心して廃棄物の処理をお任せしております。

食品リサイクル・ループの実現を目指して

2013年に食品リサイクル工場、F.R.O.Gセンターを新設しました。F.R.O.Gセンターでは、食品の製造、流通、消費の各段階で生じる食品廃棄物を、飼料、肥料へとリサイクルしています。破袋・分別する事で商品としての価値を失くし確実に処理します。これまでゴミとして捨てられていた食品を、飼料や肥料として利用する事で、ごみ処理や環境への負担が軽減できます。また、廃棄物が減少することにより処理にかかるコストも削減できます。



廃棄となった製品も安心・安全に処理いたします。

安心処理



12t
日量処理能力

容器に入っているものや袋入りのものを分別して破袋

36m³
日量処理能力

缶入飲料やペットボトル飲料を分別

安全管理



99.6m³
保管面積

保管スペースが大きいので大量に食品廃棄物を保管可能

【第三者意見】

滋賀県立大学 環境科学部 助教

平山奈央子 様

■プロフィール

2001年から琵琶湖の環境保全活動に関わり、
現在、マザーレイクフォーラム運営委員、
近畿環境市民活動相互支援センターの理事を務めている。
また研究では、企業、NPO、行政など多様な主体が連携して
琵琶湖流域保全に取り組むための手法について調査している。



近年、企業における社会貢献活動が多様化する中で、KINKANグループにおかれましても精力的に取り組んでおられていることがよくわかる報告書でした。環境分野では、琵琶湖流域の上流にあたる森林整備を通して下流域の環境を守る活動や、水質浄化の役割を担うヨシの管理、さらには地域の資源循環を目指した廃油リサイクルの活動など、興味深く拝見しました。その他、「地域社会」の取り組みとして様々な環境イベントに出展されたり、環境活動を行う団体へ寄付をされるなど活動の取り組み方も多様です。さらに、滋賀県内の小学生への環境教育プログラムの実施や女性の労働環境づくり、協働作業所との連携など地域の教育や福祉についても積極的に取り組まれています。

これらの取り組みをさらに発展させるために、私の関心や活動に寄せて2点コメントさせていただきます。まず、1点目として、環境や福祉、教育などの地域の課題が多様化する中で、それら公共の課題解決を誰が担うのか、ということを考える必要が出てくると思います。公共事業を行政にお任せするのではなく、地域の企業や市民団体、個人が連携して地域課題を担う時代に来ていると思います。ただし、それぞれの主体には得意なことやできることに限りがあります。もちろん単独でできる取り組みについてはその方がスピーディーに進められるのですが、単独では難しい内容についてはそれぞれが得意なこと、できることをうまく組み合わせ連携することで思ってもみなかった課題解決を成し遂げることもできます。そのために、思いを共有する連携パートナーを探し、“共に進める”ことを積極的に取り込まれてはいかがでしょうか。

2点目として、この報告書の内容からもわかるように、環境・福祉・教育・女性の労働環境づくりなど、一見異なる分野に見えることが時折繋がっています。今後は、地域の環境を題材に地域の子供たちへの学習の場を提供する、働くお母さんを支援するために環境保全活動の場を提供する、高齢者と子供が一緒に地域で過ごすプログラムを提供するなど分野を超えた取り組みが考えられます。

すでに実施されていることも多いと思いますが、今後、「他主体との連携」および「分野横断型」の視点から、貴グループのCSR活動がさらに発展されることを期待しております。

【お問い合わせ】

近畿環境保全株式会社 営業本部
〒520-3114 滋賀県湖南市石部口3丁目6番13号

TEL 0748-77-7288 FAX 0748-77-7299
E-mail: info@kin-kan.co.jp
URL: http://www.kin-kan.co.jp



KINKAN グループ



【沿革】

- 1962年 創業者の西村裕司が「西村商店」として京都市内で廃棄物回収の事業を始める。
- 1975年 近畿環境保全株式会社を設立。
- 1994年 滋賀県で産業廃棄物中間処理業の許可を取得。破碎機と焼却炉で事業を開始。
- 1998年 中間処理業の許可に品目追加。【廃プラスチックと感染性廃棄物の焼却】
- 2001年 「有限会社新生」を設立。プラスチックリサイクル事業に本格的に乗り出す。
- 2002年 湖南省に「近畿環境保全株式会社 石部リサイクルセンター」を竣工、
2003年より本格的に事業開始。
- 2005年 京都市における一般廃棄物収集運搬業を分社し、有限会社ラゴを設立。
石部リサイクルセンターを別法人に分社化、「株式会社湖南リサイクルセンター」として
現在に至る。この時に子会社の新生も合併。総合リサイクルセンターとして事業拡大。
- 2008年 株式会社きぶらを設立し、5月より廃木材をチップ化しリサイクルする新工場を竣工。
- 2009年 西村忠浩が近畿環境保全株式会社の代表取締役社長に就任。
西村裕司が近畿環境保全株式会社の代表取締役会長に就任。
- 2011年 株式会社きぶらの木材チップ製造施設を株式会社湖南リサイクルセンターに譲渡。
湖南リサイクルセンターにおいて、木くずの破碎施設許可を追加取得。
- 2013年 食品リサイクル施設「F.R.O.Gセンター」を竣工。

【CSR活動のあゆみ】

- 2005年 ISO14001 認証取得
- 2006年 廃植物油の回収・BDFプロジェクト開始
- 2007年 小学校における環境学習の開始 / 琵琶湖環境ビジネスメッセ参加開始
- 2008年 社内環境ポイント制度開始
カーボンオフセット開始 (内モンゴルにて植林)
- 2009年 環境報告書の第一号を発行 / 琵琶湖森林づくりパートナー協定
エコキャップ推進運動開始 / 愛する地球のために約束する協定
滋賀グリーン購入ネットワーク 入会 / グリーン電力を3年間利用
- 2010年 ヨシでびわ湖を守るネットワーク参加 / 循環型社会創造研究所えこらとの協同事業開始
滋賀レイクスターズ支援開始 エコステーションの設置
- 2011年 いしへ共働作業所 障がい者雇用開始
- 2013年 コナン市民共同発電所へ出資
- 2014年 太陽光発電パネル設置
- 2015年 琵琶湖森林づくりパートナー協定 5年間延長
- 2016年 中間処理棟へLED照明の導入

【受賞歴】

- 2011年 第3回草津市地球温暖化防止大賞 優秀賞 受賞
第2回しが低炭素リーダー賞 受賞
- 2012年 第4回草津市地球温暖化防止大賞 優秀賞 受賞
- 2014年 公益財団法人 全国産業廃棄物連合会 青年部協議会 CSR2プロジェクト
コンプライアンス部門 受賞 社会貢献部門 受賞





KANKYO KANDO KAIKAKU



KINKAN GROUP

- 近畿環境保全株式会社「一般・産業廃棄物収集運搬・中間処理」
- 株式会社湖南リサイクルセンター「一般・産業廃棄物中間処理」
- 株式会社さぶら「有価物商社」
- 有限会社ラゴ「京都市一般廃棄物収集運搬」



この冊子は再生紙を使用しております。